

なかま

No.90



発行：ボーイスカウト町田 13 団 2019 年 12 月

『今こそスカウト活動の必要な時代』

育成会会長 下山田 弘

スカウトの減少に歯止めがかかりません。少子高齢化、7人に一人が貧困家庭の子供、アマチュアのボランティアによる活動の限界等、原因がありますが、こういう時代、社会だからこそ、減少に反比例するようにスカウト活動の必要性が益々高まっていると思います。いじめ、ひきこもり、自殺、親による虐待、そして老人の孤独死等々、そういう社会にあって、スカウト活動は野外活動を通しての青少年の健全育成に留まらず、地域社会のコミュニティー作り、社会貢献環境保護、国際交流等、多様な働きを為しています。このように多様な活動を行っている青少年団体はボーイスカウト以外ありません。しかしながら残念な事に、本来のスカウト活動が出来る団が年々減っております。そういう中にありましても、我が13団は育成会員皆様のお力で、本来のスカウト活動が行われている数少ない団です。今後共、スカウト達の為、13団への御尽力をお願いする次第です。

『今年を振り返って』

団委員長 田地 司

いよいよ令和最初の年末を迎えます。今年も、それぞれの隊においてスカウトのために様々なプログラムに取り組んでいただき、無事に終えようとしていることに各位に感謝したいと思います。

さて、今年は13団としては大変大きな問題が発生しました。すでに皆さまにはご理解いただいていると思いますが、ビーバー隊に端を発した問題で急遽ビーバーリーダーの交代を余儀なくされ、保護者はじめ何よりもスカウトには心配をかけてしまい大変申し訳なく思っております。幸い、ローバー隊長であった原さんがビーバー隊長に就任、篠崎さん、帝威さん、カブから榎谷さんが副長として子供達と一緒にプログラムを展開しています。

加えて、ローバー隊には、13団生え抜きの木村さん、カブ隊にはこれも13団出身である甲田さんを隊長に迎え、リーダー陣も一気に若返りました。

また今年は、今までの反省からホームページを本田隊長、荒副長の主導で一新しました。大変充実した内容になっています。これを活用することで、今後は紙ベースの資料や案内はすべてホームページで運用されます。この「なかま」も今後はホームページでの閲覧となります。名簿についても、永山さんのご協

力で WEB による管理へ移行します。

来年は、ホームページを大いに活用していくことで一層充実した活動ができる
ことと思います。今年の反省を活かし、来年もスカウトの楽しいプログラムを
展開していきたいと思いますので皆さまの力添えをよろしくお願いします。

『ローバー隊便り』

RS 隊隊長 木村 孔紀

今年度よりローバー隊長になりました木村です。現在ローバー隊は大学卒業
の準備や海外留学などで、例年よりも少ない人数での活動となっています。そ
のため、活動の多くが各隊の支援になっています。もちろん、これまでお世話
になった隊に奉仕することは大切ではありますが、ローバーにはもっと自主的
な活動も多くこなしてもらいたいとも思っております。

ボーイスカウト界隈全体でも少子化問題が取り沙汰されることが増えていま
す。この先スカウトが減ってきて、活動の幅が狭まりやりたいことができなく
なる日が来るのかもしれませんが。ビーバー・カブ・ボーイで学んだ基礎を活か
し、ベンチャー・ローバーで自分が考えた活動をする。その時、環境であった
り人数の問題でできないというのはやはり悲しいです。そういったことがない
ように、また多くの後輩スカウトたちが「ローバーになりたい」と思えるよう
に、自分たちの活動と他隊の支援の両立は我々の必須の課題であります。

つい先日までスカウトの身分であった私では力不足とは思いますが、13 団
をより良い団にできるよう誠心誠意努めさせていただきます。末筆にはなりま
したが、今後もローバー隊の活動に変わらぬご理解ご協力のほどをよろしくお
願いいたします。

『ベンチャー隊便りーWB 実習所に参加して思うことー』

VS 隊隊長 本田 裕輔

スカウト活動へのご理解、ご協力ありがとうございます。去る 10 月 31 日か
ら 4 泊 5 日で愛知県連の新城吉川野営場で開催された WB 実習所ベンチャー
スカウト課程第 31 期に参加しました。

上級訓練課程であるウッドバッジ実修所では、第1教程：課題研究、第2教程：プログラムトレーニング3泊4日野営、第3教程：自隊で取り組んだ結果を報告する「実務訓練」が設定されています。研修所とは異なり実修所では、「実務訓練」の履修をもって実修所の修了が認定されます。

通常のプログラムトレーニングは3泊4日野営ですが、今期のベンチャースカウト課程では中日に移動キャンプが設定されたため、4泊5日となっています。プログラムトレーニングはプログラム推進能力を高めることを目的としています。スカウティングらしいプログラムが企画できるようになり、その中でスカウト、保護者および地域社会に受け入れられるために必要なアプローチについても学びます。

初日はオリエンテーションもそこそこに、チームビルドのため、三角通信塔の制作を行い、その後続けざまに設営、調理、夜のセッションと続いたため、夕食にありつけたのは0時を回った頃でした。このようなセッション漬けの中で思うことは、今までやってきたことは決して間違いではないが、保護者の皆様のニーズと現状の活動に乖離や方向性の違いを確認することや、地域社会への積極的なアプローチが足りていなかったなと反省しています。それでも教官の教えや良いメンバーと繋がりを持てたことは素晴らしい財産になりました。このような機会を頂き感謝しています。

「実務訓練」をすすめ、より良きプログラムを構築していけるよう活動していきます。
ご協力をお願いします。

『BS 隊だより』

BS 隊隊長 宮本 隆太郎

今年度、BS 隊は VS へ 2 名、CS から 7 名のスカウトがそれぞれ上進し、スカウト 20 名という大所帯で活動がスタートしました。
リーダーは廣瀬さんが CS へ異動、新たに CS から宮澤さん、成澤さんに参画いただきました。また 4 年ぶりに永山さんにも返り咲いていただき、増田さん、竹原さん、鎌田さん、宮本の 7 名体制です。総務の元木さん、西村さん、兼村さんはじめ、保護者の皆さま、VS、RS の各隊にも支援いただきながら BS 隊

の活動を盛り上げていければと考えております。

さて、BS 隊といえは何はともあれキャンプ！なのですが、10 月キャンプが台風で中止となってしまったため、11 月後半の『1 級挑戦キャンプ』が年度幕開けのキャンプとなりました。

『1 級挑戦キャンプ』というのは、1 級スカウトへの進級要件である『炊事章』取得のためのスキル習得を主眼に置いたキャンプで（ちなみに BS スカウトは初級⇒2 級⇒1 級⇒菊へと進級していきます）、保存食づくり（豚のロース肉味噌漬けや、丸ごとのアジをさばいて一夜干しを作ったりします）、火やキャンプिंगストーブ、刃物の取扱いを学んだりします。1 級に進級するスカウトだけでなく全員が参加する毎年恒例の特別訓練キャンプで、繰り返し体験することでスキルを習得していきます。炊事関連のセッションが目白押しのため、テントは通常のキャンプで使う A 型ではなくドーム型で手早く設営を済ませて…という段取りなのですが、この時期にしては珍しく雨の降りしきる、厳しいコンディションとなってしまいました。

CS 隊から上進してきた新入りスカウトたち 7 名にとっては初めてのキャンプでしたが、設営を指導できる上級生が比較的少なく、雨が降って強い風も吹きつける中での作業ですので、ドームテントといえども設営はままなりません。うっかりテント本体を広げたまま、ぼやぼやとフレームを組み立てているうちにテントのなか水浸しになってしまう班もあったり、風で煽られるフライを必死で押さえたりと、苦労しながら何とか設営を終わらせました。

せっかく楽しみにしていたキャンプでいきなり自然の洗礼を浴び、新入りスカウトたちは意気消沈してしまうのではと思いきや、泣き言をもらすようなスカウトは一人もおらず（少なくとも隊長の前では）、みんな明るく元気に活動してくれたことはとても頼もしい限りでした。

そして迎えた 12 月キャンプ。さすがに朝晩は冷え込みましたが 11 月とは打って変わって晴天に恵まれ、上級生、下級生がそれぞれ自分の役割をしっかりと果たし、チームワーク良く予定通りに活動を進めることができました。この時期としては良い意味で『想定外』の出来栄えにリーダー一同、喜ばしいながらもいったいどうしたことかと軽い驚きを感じつつ、キャンプを終えました。今年は 7 名もの新入りスカウトを迎え、はじめの間はそこそこ手こずるだろうと予想していましたが、全くの杞憂だったようです。先輩スカウトたちの自覚が芽生え立派にリーダーシップを発揮できたのか、はたまた新入りスカウトたちが皆素直で頑張り屋さんなのか…きっと両方に違いないと信じています。この先も目覚ましい成長を遂げ、リーダーたちを驚かせ続けてくれることを期待しています。

『カブ隊だより』

CS隊隊長 甲田 秀行

「ウォー」「ウォー」「ウォー」新任隊長の甲田です。昨年度リーダに復帰し1年足らずで、隊長をやらせていただいております。新任隊長のため、右も左もわからない部分もございますが、皆様よろしくご指導の程お願い致します。

さて、カブ隊ですが、昨年度の大所帯（3組 17名）の編成から若干規模を縮小し（3組 11人）の編成となっております。大人数いた旧くまスカウト（現BSスカウト）達がいなくなり、どうなるのか？と感じておりましたが、現くまスカウト達が後輩たちを引っ張って行ってくれており、今後の1年間が楽しみな状況です。皆様におかれましても、ご声援の程よろしくお願い致します。

リーダ陣も私を含めベテランが抜けた穴をカバーしあい、スカウトにとって何がよいか「スカウトファースト」をモットーにカブ隊を盛り上げていきたいと思ひます。

最後に、今年度の新たな取り組みとして「モーニングゲーム」を実施しています。スカウト達のアイスブレイクになり、その日の活動が更に活発なものになっていると考え導入をしています。ご支援いただく皆様におかれましても、スカウト達にとっての良いアイディアがございましたら是非ご連絡ください。

弥栄

『夏キャンプ』

BS隊 バイソン班 新井 祐毅

今回は、山梨県の金山山荘に、五泊六日で夏キャンプに行きました。今回は、フクロウ班の参加者が少なかったため、自分はフクロウ班として、今回のキャンプに参加しました。

今回のキャンプを大きく二つに分けて書きたいと思ひます。

前半は、特に登山のことについて書きます。二日目は山の上でテントを張って泊まり、二日目と三日目に連続で山に登りました。まず、山の上の富士見平小屋までテントを運び、そこで設営をしました。テントを持って山を登ったため、荷物は重かったのですが、学年ごとに重さの違うものを持ったため、予定通りに登ることができました。二日目は、まず瑞牆山に登りました。この山は、

岩場がとて多くグローブを使い、手も使って登らないといけないような険しい山でした。しかし山頂までの距離はあまり長くなかったため、それほど疲れるということもなく、今まで登ったことのある山の中では、登ってみて一番楽しかった山でした。この日は、人生で初めて、山の上のテントで寝ました。キャンプ場自体の消灯時間が早かったため、夜は軽い夕食（レトルトのカレー）を食べただけですぐ寝ましたが、厚着をして寝ていても寒いと感じたので、今思うと標高が違っただけでこれほどにも気温が変わるものなのだなと感じます。三日目は金峰山に登りました。この山も、瑞牆山に比べたら険しくないものの、岩場があり、また距離も長かったため、前日と比べて、山頂に着くまでとても時間がかかりました（約四時間）。しかしこの日も、全員が順調な良いペースで登ることができ、予定よりも早く登頂することができました。しかし班員それぞれのペースを考えられていなかったため、班がバラバラになってしまったことは反省しないといけないと思いました。

後半は、キャンプ後半のプログラムについてです。四日目は、水晶採りに行きました。自分はこの日、多くの虫にさされてしまい、嫌な思いをしましたが、水晶採り自体は、水晶も多く見つかったので、プログラムとしては楽しかったです。五日目はバーベキューを、カブ隊と合同で行いました。ボーイ隊は準備、調理が仕事だったため、味わって食べることはできませんでしたが、それでもやはり美味しかったです。

今回のキャンプでは、「時間管理」と「役割分担」をグリーンバー会議でも注意され、意識していたので、キャンプ中に改善することもできたので、これからも、この二つを意識して活動していきたいです。

『夏キャンプ』

BS 隊 バyson班 竹原 楓太郎

途中参加となってしまった今回のキャンプで僕は来年につなげたいことがあります。

それは、時間管理です。こう思う理由は、今回のキャンプ中に一番注意されたからです。特に、起床から点検までの時間の管理が出来ていませんでした。このことは前回のキャンプでも注意されたため、僕達は時間を過ぎないように対策をとりました。それは、起床時間を 30 分早めるということです。これを行うことによって、調理時間ものばすことが出来ます。実践すると、いつもより早くおわらせることが出来ました。怒られずにすんだ喜びとともに、自分達が今までなぜこんな単純なことをしてこなかったのか腹立ちました。せっかく

気付いたことなのでこれも来年につなげていきたいと思います。

来年は一番上だから、今までの経験を活かしてトップとしての自覚をもって行動したいです。

『様々なことが経験できた夏キャンプ』

BS 隊 バイソン班 武田 碧生

僕は今回の夏キャンプで様々な事が経験できたと思います。そして、この経験を次の年で生かしたいと思っています。

今回の朝、集合がものすごく早く、普段は起きないような時間帯に起きました。これは普段の生活では欠かせないです。今回の時間は早すぎますが、早起きはして行こうと思います。

このキャンプの僕のテーマは、後はいに対してというテーマでした。今回、バス停からキャンプ場までの約 5.5km の距離を歩きました。しかもザックを持って!! 最初の方はみんな楽しそうでしたが少しすると山中君と竹原君がばてはじめ、僕達だけで先に進んでしまい、永山先ぱいたちに、止められ、列をもどしても同じようなことになってしまいました。しまいには、僕もおくれはじめました。僕はその時、後はいのハバザックを持ってあげられず、はげますことくらいしかできませんでした。すると、新井先ぱいや木下君が後はいの荷物を持ってあげていました。僕もこのようなことがしたいです。

さて、夏キャンプの2, 3日目は、山の中でのキャンプで僕にとっても初めてでした。食事も全てレトルトで、意外にきつかったです。そして、今回の夏キャンプで一番つらかったこと、それは山登りでした。しかも、2日連続です。これも初めてでした。2000m 級の山を2日登ると聞いた時、自分は途中でリタイアするのではと思ったくらいです。ですが、案外楽しく、無事に山頂まで行けました。

前のキャンプ場にもどると、立ちカマドで料理するようになりました。僕は以前の7月キャンプで作りかたを学んだので、わからないことがひとつもなく、山中君に教えられるほどでした。ですが、まだ自分でも強くしめられず、考えたら、割りがたりないのだということに気がつきました。そして、割りを強くいれるときつくなりました。このことから、失敗をそのままにせず、どこがだめなのかということをはあくすればよいと思います。

5日目のバーベキューではカブスカウトたちと一緒にバーベキューをしました。この時、カブスカウト達が、ありがとうございますと、僕たちに言ってくれたことがとても嬉しかったです。ささいなことでも「ありがとう」と言える

のはすごいと思います。今度そういうスカウトがボーイに上がってくると考えると少し楽しみです。

この夏キャンプでは、出来る事も増え、知識も増えました。今度の9月の上進式で上がってくる子たちにそれを教えられるようにがんばります。

『カブ最後の夏キャンプ』

CS 隊 2 組くま 小池 あつし

ぼくは、カブ最後の夏キャンプにいきました。

一日目は、朝六時におき、電車に乗り、新宿に行き、バスタ新宿にのり甲府駅まで行きました。甲府駅までいったら、電車に乗り、バスに乗りバスをおりたら、宿舎までハイキングをしました。宿舎についたら、やすんでから夕食を食べました。食べ終わったら、小営火をするところだったけれど雨でできなくてざんねんでした。それからふろに入りくまは、イエローバー会議をしてからねて、一日目は、終わりました。二日目は、朝のセレモニーをしてごはんをたべ登山をしました。2 組は、とちゅうまでしか登れなかったけどがんばってつけてよかったです。昼ごはんがおいしかったです。食べ終わったら、下山をしました。そして、夕食にし、ナイトプログラム星のかんさつをしました。次に、ふろに入りイエローバー会議をしました。三日目は、朝食をしてから水晶とりに行くじゅんびをしました。昼は、カレーでした。少しからかったです。宿舎にもどりました。夕食を食べ終わったらナイトプログラムをしました。三日目のナイトプログラムは、楽しかったです。入浴をし、イエローバー会議をしました。四日目は、朝のセレモニーをしてから朝食をし、マスつかみをする場所でマスをとりました。自分は、一匹だけでもつかまえてよかったです。そしたら、宿舎にもどりBSサイトまでいきました。ながしソーメンをしてたのしかったです。宿舎にもどり夕食をたべたらBSサイトにまた行き、大営火をしました。スタンプは、うまくつけてよかったです。入浴に入ったら、イエローバー会議をしてねました。5 日目、朝からあたまがいたくてつらかったです。楽しみなぶどうがりがいけなくてかなしかったです。

夏キャンプでエビむすびができるようになってよかったです。

一番楽しかったことはマスつかみとBBQと水晶とりです。

『夏キャンプ』

CS 隊 3組しか 甲田 一き

ぼくがおもいでにのこったのは、山のぼりと水しょうとりです。

山のぼりの時は、1ばんから5ばんまであって4ばんまでのぼれたので、うれしかったです。1ばんから3ばんまではきよりはふつうだったけど、3ばんから4ばんまでかなりとおかったです。4ばんでごはんを食べました。水しょうとりは、小さいのしか見つかなかったけど楽しかったです。水しょうとりの川はとってもつめたかったです。次行けたらもっと大きい水しょうをとってみたいです。

一番ざんねんだったのは、マスつかみの時に、1ぴきもつかめなかったことです。あの時はちょっとくやしかったです。

バーベキューの時にスイカわりをしました。自分がたたく時ちょっとしかあたらなかったけどさいしゅうてきにわれたので楽しかったです。

『夏キャンプ』

CS 隊 1組しか 荒 旬之輔

はじめての夏キャンプでたいへんだったことは朝早くおきられなかったことです。なぜならぼくは、いつもとちがう場所にいたからです。

とくにおもしろかったのがナイトプログラムで行ったアウトドアゲームでいちゅうでんとうの光にあてられるとアウトのゲームです。なぜなら、ぼくはそういったゲームがすきだからです。だから、もう1回やってみたいです。

このキャンプでまなんだことは、ロープワークのひとえつぎです。これは、とわせんぱいがおしえてくれました。ボーイたいなどで生かしたいです。

ぼくが一番かんしゃしたことは、ごはんを作ってくれたことです。一番おいしかったのが牛どんです。

ぼくが、はんせいしたところは、へやかわりたいといってわざわざせんぱいたちが言いについてみんなをまきこんでしまったことです。

その時ぼくは、ないてわがままを言わなければよかったと思いました。でもせんぱいたちがぼくのためにたたかってくれてとてもうれしかったです。つぎからは、自分のことだけ考えるのではなく、くみ全体のことを考えて行動できるようにになりたいです。

一番うれしかったのがすいしょうとりです。なぜならはじめはぜんぜんとれなかったけれど場所をかわただけでいっぱいとれるようになったし、トイレに行って手をあらっている時にとうめいなすいしょうを見つけたからです。ぼ

くはいそいで手をのばしそれをつかみました。そのしゅんかんぼくは、心の中で「やったー」とさけびました。そのすいしょうは、一番大きくて、光っていてつるつるしていてかいのあとがあるし、一番ほしいと思っていた形でした。そしてなにより組で一位になれたのでうれしかったです。

つぎのキャンプでがんばりたいことは、山のぼりの時にスピードをあげることです。

『BVS 隊 保護者感想文』

BVS 隊保護者 奥田 ひかり

昨年の秋に入隊してから約一年、印象に残っている活動といえば、高尾山の登山に向けて、小山田緑地を歩く「森を探検しよう」の活動です。 みんなで列になって歩くだけなのですが、自然の中を歩く経験があまりなかったので、新鮮でした。どこかへ連れていったり、特別なことを体験ではなくても、こんなふうにみんなで自然の中をのびのび歩くことも親子ともにリフレッシュになりよい活動でした。

ビーバーの活動を通して、隊長やリーダー、お友だち、ゲストさん、サポートに来てくださるローバーのお兄さんたちや保護者など多くの人たちと関わることが、子どもの成長によい経験になっているのかなと感じています。小学校生活が始まり、いろいろ不安もありましたが、ビーバーでの経験を通して、いろんなことを楽しめる力を育む後押しになればと思います。

『BVS 隊に入隊して』

BVS 隊保護者 芝原 美紗子

家庭ではなかなかできない経験ができると良いな、という思いで入隊してから早半年が過ぎました。

自分から話しかけたり輪の中に入っていくのが苦手な長男は、今でも輪を作る時にはモジモジ。活動中も列の最後尾で様子をうかがっています。

入隊したての頃は、そんな様子を見て歯痒い気持ちになりましたが、1つ1つの活動に参加していく中で、彼なりに毎回とても楽しみにしていること、ビーバーの仲間とやった、出来たことが小さな自信とたくさんの興味につながっていることがわかってきました。

忍者修行の後しばらくは兄弟で忍者修行の寸劇を満喫し、キャンプでは初めて親と離れて寝ることができたことで、幼稚園でのお泊まり保育も楽しめました。海の水が時間によって満ち干きすることを知って、海や宇宙に興味を持ったり、ピーナツは落花生で、栗の収穫はとても危険でとても楽しいという事を嬉しそうに話していました。

そろそろ意欲的に活動している姿を見たいなと、逸る気持ちもありますが、これからもビーバーの活動を通してどんな風に子供たちが変化していくのか、とても楽しみです。

『スカウティング小話その7 スカウト精神』

育成会会長 下山田 弘

「粉雪はらはらと窓に舞い 山の宿りの冬の夜は
赤きほだ火に見入りけり 花散るころのわびしさを
ちまたに見たり山恋し 思い出のみは清くして
心の友よ星の夜の ほかげにはえしけだかさに
また会う日をば思うかな ああ山に見し友どちの
心の灯をば人の世の 光ととわにささげなん」

この詩は1952年、ウイルソン先生「初代世界連盟事務局長」を日本連盟山中「湖」野営場にお迎えして、ギルウエルリユニオン「英国ギルウエル実修所修了者の同窓会」の際、吉川哲雄先生「日本連盟先達」が即興で板書きされたものである。山中野営場は佐野常羽先生「我が国スカウト運動の先駆者」がスカウトリーダーの養成の為、お弟子の吉川先生と作られた研修所である。

以来多くのリーダーを育て、スカウト精神も培われて来た。残念ながら一昨年、山中野営場は92年の歴史に幕を閉じた。佐野先生の「道心堅固 精究教理 実践窺行」の記念碑、吉川先生の「懐かしの森」の歌碑も新しく出来た茨城の日本連盟高萩野営場に移された。年々スカウト精神が稀薄になり、子供会化するスカウト活動に、新たな野営場にスカウト活動の歴史的記念物が移されたように、スカウト精神も絶える事無く引き継いで行きたいものである。

報告あれこれ

★賛助会員の岩崎肇様よりご寄付を頂きました。

★こども祭り 10/27(日)
純利益 97,948 円

★ころころ小春まつり 11/30(土)
純利益 25,867 円

ご協力いただきました保護者の皆様、賛助会員の皆様、どうもありがとうございました。

今後ともボーイスカウト町田 13 団のご支援を宜しくお願い致します。

